

建設棟 2 階喫煙所の緑化 & Camouflage

八代研究室

00612091 佐治 怜

1. はじめに

建設棟 2 階喫煙所半屋外スペースでは学生や教員が喫煙をしているが、そこは夏には暑く、冬には寒く、見た目も殺風景である。そこで、緑化を行い Camouflage することで喫煙所が快適な場所になれば良いと考えた。

2. 本制作における POINT

以下の 3 点を本制作におけるポイントとして挙げていく。

(1) 今まで忘れられていたコンクリートスペースを有効活用出来る。例えば食堂 2 階のテラスや 3 階研究室横のテラスなどが挙げられる。

(2) プランターは厚さが薄く、乾燥に注意が必要。その為パーライトを用いる事で、保水力を高めると同時に排水力も強くなり通気性も良くなる。

(3) イワダレソウの採用：イワダレソウは非常に乾燥に強く、成長力の旺盛な植物であり、灌水の必要はほとんどない。

3. 計画地およびプランの説明

(1) 計画地について：当初は、候補が 3 ヶ所挙がっていた第 1 候補がものづくり大学建設棟 2 階喫煙所、第 2 候補が学生会館 2 階テラス、第 3 候補が B3010 研究室横テラスだった。この 3 ヶ所が挙がっていた。中でも特に利用者の多い点に着目し建設棟 2 階屋外喫煙所に本敷地を計画地とした(図 1)。

(2) プランについて：多くの面積をしめている平面には、グランドカバーとしてイワダレソウを使用、梯子までの通路は枕木で飛び石をイメージする。斜面はメッシュを斜めにすることで奥行きをだす。なお、管理については造園関係者でなくても移動・取り外しが簡単に行える物であることを主に置き、本プランを考えた(図 2)。



図 1. 計画場所 2 階喫煙所テラス

4. 制作過程(15日間)

黒土(1.5 m³)にパーライト(200)を混ぜることにより、保水力を高め通気性が良く排水力も強い土壌改良材となる。

プランターに養生シートを貼り雨天時に土が流れないように養生をする。

プランターの天端まで黒土を入れ、あらかじめ切っておいたイワダレソウ(表 1)をプランターの大きさに合わせて植え付ける。

周囲に枕木(15 m²)を設置する。枕木の接合部分は鋸で固定。

雨天時に土がコンクリートの目地に入り込まないように、コンクリート部分に養生シートを敷く。

コンクリートの強度試験に使用する試験体を円上に設置し花壇を作り、内部プランターを置く。

アルミ L 型鋼、メッシュを設置する。その際にメッシュを L 型鋼にビスで固定する。

最後にプランターに入れたピンカ・マジョールを上から垂らし完成。本制作のベストシーズンは、4 月~6 月特に見頃であり。費用は全部で約 2 万円に納まっている。

5. まとめ

土は細かい方が根の付きがよくなることがわかった。反省点としては、制作時に植物の開花時期を過ぎてしまったことが挙げられる。今後、喫煙所が学生や教員の憩いの場になることを願う。

【謝辞】

指導をいただいた宮島秀夫先生、制作に協力してくださった山本賢人君をはじめ多くの人に感謝いたします

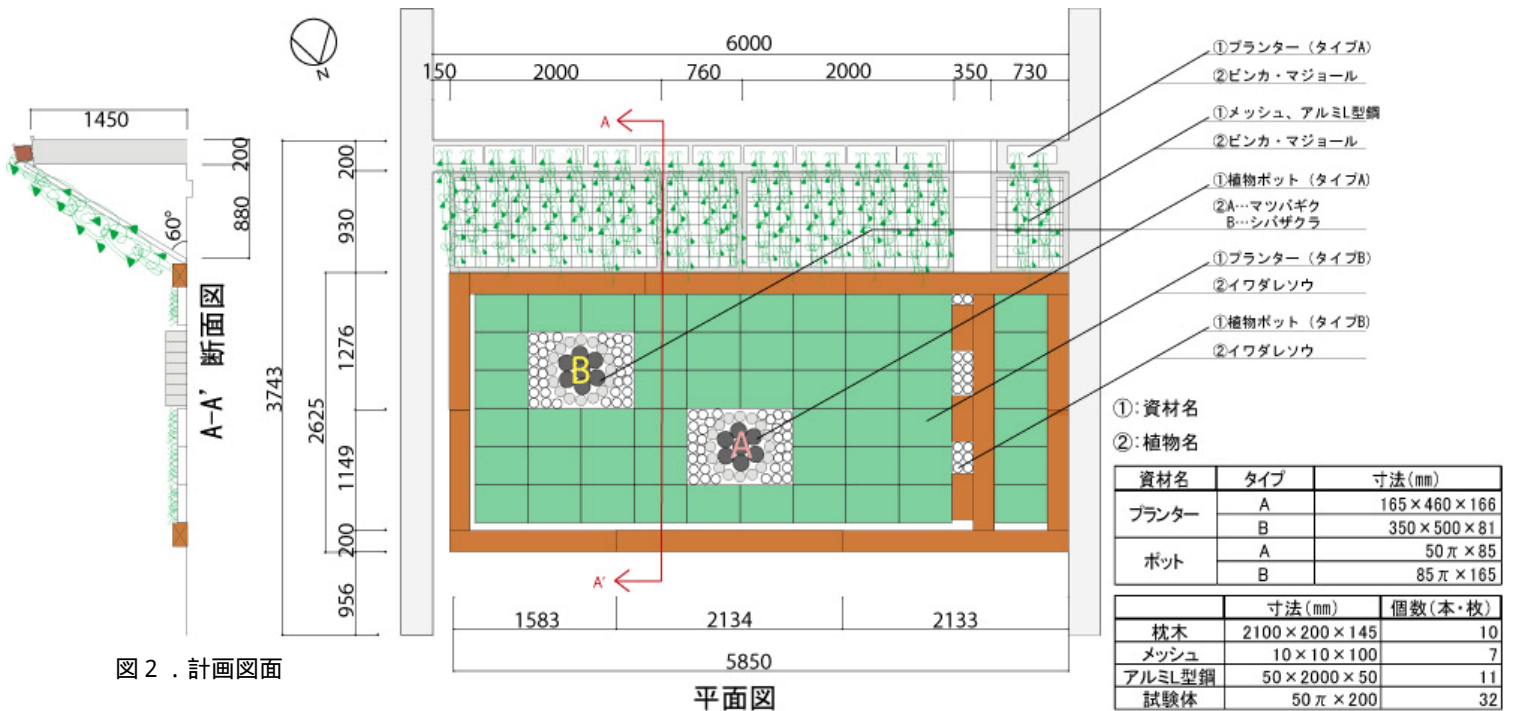


図2. 計画図面

表1. 植物一覧表

使用植物名	イワダレソウ	ピンカ・マジョール	マツバギク	シバザクラ
写真				
種別	クマツラ科	キョウチクトウ科	ツルナ科	ハナシノブ科
種類	多年草	多年草	多年草	多年草
開花時期	4月～10月中旬	4月～7月	5月～6月	4月～5月
特徴	夏から秋にかけて白い花が咲く。世界中の亜熱帯に広く分布する。海岸によく生え、乾燥にも強く、1日の日照時間が3時間程度でも成長する。	春から初夏というより、一年中、淡青色～紫色または白い花を咲かせる。葉には光沢があり、卵形で美しく、斑入り種もあり観葉植物としても使われている。	多肉の葉をつけた木化した茎が広がり、キクのような花が株を覆うように咲く美しい植物。花は桃が基本色で、黄、紅、藤桃、橙白など豊富に品種がある。	北米原産。4-5月頃に桜に似た形の淡桃、赤、薄紫、あるいは白色の花を咲かせる。よく枝分かれし、密生するため芝生代わりに植えられることもある。

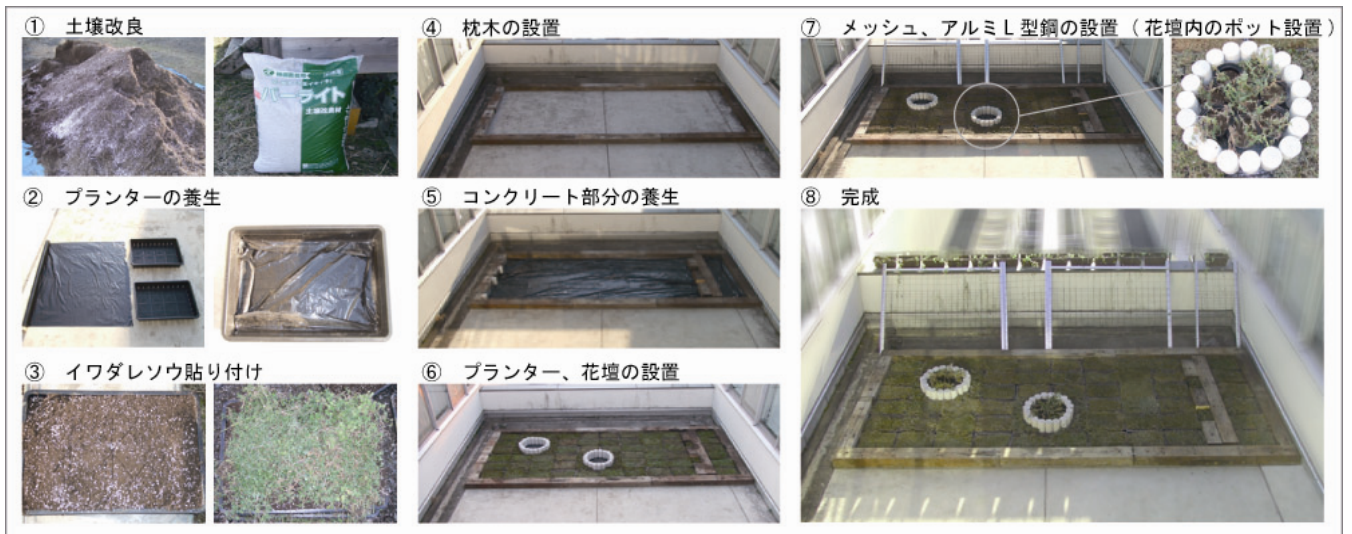


図3. 制作過程